



平成27年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アシックス

コード番号 7936 URL <http://www.asics.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 尾山 基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 加藤 勲

TEL 078-303-2213

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第3四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第3四半期	336,807	—	33,074	—	27,356	—	15,201	—
26年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年12月期第3四半期 6,780百万円 (—%) 26年12月期第3四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第3四半期	80.08	75.63
26年12月期第3四半期	—	—

(注) 平成26年12月期は決算期変更の経過期間であったことから、平成26年12月期第3四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、平成27年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率および平成26年12月期第3四半期の連結経営成績(累計)につきましては記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第3四半期	355,428	204,812	57.2
26年12月期	355,837	201,940	56.5

(参考) 自己資本 27年12月期第3四半期 203,260百万円 26年12月期 201,009百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	—	—	23.50	23.50
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	23.50	23.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	425,000	—	27,000	—	21,000	—	9,000	—	47.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成26年12月期は決算期変更の経過期間であったことから、当社および従前の決算日が3月31日の連結子会社は9ヶ月間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)、決算日が12月31日の連結子会社は12ヶ月間(平成26年1月1日～平成26年12月31日)を連結対象期間とした変則的な決算となっております。このため、対前期増減率につきましては記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年12月期3Q	199,962,991 株	26年12月期	199,962,991 株
-----------	---------------	---------	---------------

② 期末自己株式数

27年12月期3Q	10,142,966 株	26年12月期	10,140,795 株
-----------	--------------	---------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期3Q	189,821,100 株	26年12月期3Q	— 株
-----------	---------------	-----------	-----

(注)平成26年12月期は決算期変更の経過期間であったことから、平成26年12月期第3四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、平成26年12月期第3四半期の期中平均株式数(四半期累計)につきましては記載しておりません。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成27年11月6日(金)に当社ホームページ(<http://www.asics.com/jp/>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
(1) 連結分類別売上高明細表	9
(2) 地域別売上高	9
(3) 在外子会社為替換算レート	10
(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるスポーツ用品業界は、健康志向によるスポーツへの関心の高まりやランニングブームを背景に、堅調に推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、中期経営計画「アシックス・グロース・プラン(AGP)2015」に基づき、引き続きグローバルレベルでの事業の強化・拡大を図りました。

ランニングは、コア事業として更なる拡大およびブランド価値の向上を目指しました。フィット性が特徴である高機能ランニングシューズ「GEL-KAYANO 22」の他、クッション性に優れた高機能かつ斬新なデザインのランニングシューズ「GEL-QUANTUM 360」を市場投入しました。さらに、ロサンゼルス、パリ、ストックホルム、東京など世界各地のマラソン大会への協賛などを行いました。この他、トレーニングプログラムを提供するオンラインサービス「MY ASICS」を、ソニー株式会社のヘッドホン一体型スポーツデバイス「Smart B-Trainer」と連携させることで、リアルタイムでランニングのコーチングを受けられるようにサービスを向上しました。

アスレチックスポーツでは、売上拡大およびブランド価値の向上に努めました。高機能テニスシューズ「GEL-RESOLUTION 6」をはじめ、テニスシューズの売上拡大に努めました。また、グローバルでテニスに関するマーケティング活動を強化した結果、当社テニスシューズが、男子テニス世界ランキングのトップ100選手の使用シューズにおいて、25%の使用率となり、トップシェアとなりました(平成27年5月26日付スポーツバズビジネス社調べ)。さらに、北京で開催された世界陸上競技選手権大会において、世界20カ国の代表選手へ当社製品を提供しました。また、「QANTAS WALLABIES(カンタス・ワラビーズ)」の愛称で知られるラグビーオーストラリア代表チーム、「SPRINGBOKS(スプリングボックス)」の愛称で知られるラグビー南アフリカ共和国代表チームにジャージを提供したのに加え、世界13カ国の代表選手へ当社のラグビー用スパイクシューズを提供しました。

スポーツライフスタイルは、アシックス、オニツカタイガーに続く第三のブランドとして復活させた「アシックスタイガー」ブランドで12ヶ月マンスリーコラボレーション企画を行うなど、ブランドコンセプトに基づく戦略の実行によってブランド価値向上と売上拡大に努めました。

販売面では、自主管理売場の拡大を通じた売上拡大に努めました。アシックスブランドでは、パリにランニング、トレーニング、テニスなど幅広い品揃えと女性専用売場を設置した新コンセプトの直営店をオープンしたのをはじめ、マドリードにアシックスブランドの旗艦店をオープンし、また、オニツカタイガーブランド、アシックスタイガーブランドでは、渋谷に直営店をオープンするなど、世界各地への出店を進めました。これにより、当社の自主管理売場の店舗数は、直営店414店舗となり、その他パートナーストアを含めると全世界で1,500店舗を超えました。さらに、世界共通のITプラットフォームに基づく自社独自のEコマースサイトでの販売を、新たにオーストラリアをはじめとする5カ国で開始しました。

アパレル事業では、企画開発生産から販売まで一貫した事業戦略の遂行に努めました。グローバルレベルで統一的に企画開発を行ったランニング、トレーニング、テニスウエアのグローバルコンセプトシリーズの発売などを行いました。

国内事業では、利益体質の基盤を築くための構造改革の一環として、特別転進支援プログラムを実施し、組織構造のスリム化に取り組みました。

また、多様な人財が最大限能力を発揮できる企業文化・環境の中でイキイキと働き、持続的な会社の成長に貢献することを目的として、「“One Team” 違いを活かす、高め合う。」をスローガンにダイバーシティを引き続き推進しました。

加えて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関してスポーツ用品(スポーツアパレル及び競技用具)カテゴリーにおける国内最高位のスポンサーである「東京2020ゴールドパートナー」となりました。

その他、スポーツ振興を通じた健康で持続可能な社会の実現に向けた活動に努め、東日本大震災の継続的な復興支援活動「A Bright Tomorrow Through Sport (ブライト トゥモロー スルー スポーツ) あしたへ、スポーツとともに」の一環として、「未来(あした)への道1000km縦断リレー2015」への協賛などを行いました。

また、当社は、その企業活動が評価され、インターブランド社の「Japan's Best Global Brands 2015」において、過去最高のブランド評価額にて19位に選ばれました。さらに当社は、世界各国の企業の持続可能性(サステナビリティ)を経済・環境・社会の3つの側面から評価し、優良企業を選定する、世界の代表的な社会的責任投資指標「Dow Jones Sustainability Indices」の「Asia/Pacific Index」対象銘柄に初めて選定されました。加えて、従業員などの健康管理を経営的な視点で考えて戦略的に実践している企業として、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄」にも選ばれました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は336,807百万円となりました。このうち国内売上高は80,314百万円、海外売上高は256,493百万円となりました。売上総利益は146,535百万円、営業利益は33,074百万円、経常利益は27,356百万円、四半期純利益は15,201百万円となりました。

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度は決算期変更の経過期間であったことから、前第3四半期連結累計期間につきましては、四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、前年同期間比は記載しておりません。

① 日本地域

日本地域におきましては、売上高は97,406百万円となり、セグメント利益につきましては3,522百万円となりました。

② 米州地域

米州地域におきましては、売上高は107,927百万円となり、セグメント利益につきましては6,044百万円となりました。

③ 欧州地域

欧州地域におきましては、売上高は91,001百万円となり、セグメント利益につきましては9,808百万円となりました。

④ オセアニア/東南・南アジア地域

オセアニア/東南・南アジア地域におきましては、売上高は16,542百万円となり、セグメント利益につきましては2,840百万円となりました。

⑤ 東アジア地域

東アジア地域におきましては、売上高は32,432百万円となり、セグメント利益につきましては5,196百万円となりました。

⑥ その他事業

その他事業におきましては、売上高は8,864百万円となり、セグメント損失につきましては325百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産355,428百万円(前連結会計年度末比0.1%減)、負債の部合計150,616百万円(前連結会計年度末比2.1%減)、純資産の部合計204,812百万円(前連結会計年度末比1.4%増)でした。

流動資産は、売上債権の増加などにより、273,357百万円(前連結会計年度末比3.2%増)となりました。

固定資産は、アシックスアメリカコーポレーションの配送センターの拡張による有形固定資産の増加があったものの、つくば配送センターにかかる不動産信託受益権譲渡による有形固定資産の減少および長期デリバティブ資産の減少による投資その他の資産の減少などにより、82,070百万円(前連結会計年度末比9.7%減)となりました。

流動負債は、主として償還期限が1年以内となった社債の固定負債から流動負債への振り替えによるその他の負債の増加などにより、87,965百万円(前連結会計年度末比13.7%増)となりました。

固定負債は、上述の振り替えによる社債の減少などにより、62,650百万円(前連結会計年度末比18.2%減)となりました。

株主資本は、利益剰余金の増加により、179,206百万円(前連結会計年度末比6.4%増)となりました。

その他の包括利益累計額は、主として為替換算調整勘定が減少したことにより、24,054百万円(前連結会計年度末比26.1%減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関する事項については、本日(平成27年11月6日)公表の「平成27年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項がないため記載しておりません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,887	55,674
受取手形及び売掛金	80,991	88,500
有価証券	2,821	4,338
商品及び製品	99,180	94,557
仕掛品	345	322
原材料及び貯蔵品	886	812
繰延税金資産	5,519	7,130
その他	24,235	24,777
貸倒引当金	△3,898	△2,755
流動資産合計	264,969	273,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,045	33,534
減価償却累計額	△19,372	△18,970
建物及び構築物 (純額)	16,672	14,564
機械装置及び運搬具	5,048	5,212
減価償却累計額	△3,946	△3,973
機械装置及び運搬具 (純額)	1,101	1,239
工具、器具及び備品	21,680	22,455
減価償却累計額	△12,985	△14,282
工具、器具及び備品 (純額)	8,694	8,172
土地	9,466	7,454
リース資産	7,240	8,850
減価償却累計額	△2,801	△2,662
リース資産 (純額)	4,438	6,187
建設仮勘定	1,734	1,759
有形固定資産合計	42,109	39,378
無形固定資産		
のれん	5,165	4,358
その他	14,424	14,069
無形固定資産合計	19,590	18,427
投資その他の資産		
投資有価証券	10,534	11,005
長期貸付金	411	233
退職給付に係る資産	522	486
繰延税金資産	995	706
その他	17,073	12,477
貸倒引当金	△369	△643
投資その他の資産合計	29,168	24,264
固定資産合計	90,868	82,070
資産合計	355,837	355,428

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,263	24,085
短期借入金	15,414	11,806
リース債務	617	633
未払費用	15,842	19,939
未払法人税等	1,915	3,820
未払消費税等	2,013	3,522
繰延税金負債	2,176	2,402
返品調整引当金	594	417
賞与引当金	843	1,337
資産除去債務	7	-
その他	10,660	20,001
流動負債合計	77,348	87,965
固定負債		
社債	16,000	5,000
新株予約権付社債	30,125	30,102
長期借入金	8,590	7,944
リース債務	4,256	5,993
繰延税金負債	6,074	4,903
退職給付に係る負債	8,241	4,412
資産除去債務	852	960
その他	2,408	3,333
固定負債合計	76,547	62,650
負債合計	153,896	150,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,972	23,972
資本剰余金	17,490	17,490
利益剰余金	134,640	145,409
自己株式	△7,658	△7,665
株主資本合計	168,444	179,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,168	3,697
繰延ヘッジ損益	14,645	14,373
在外子会社資産再評価差額金	129	101
為替換算調整勘定	14,547	5,718
退職給付に係る調整累計額	73	162
その他の包括利益累計額合計	32,564	24,054
新株予約権	35	73
少数株主持分	896	1,478
純資産合計	201,940	204,812
負債純資産合計	355,837	355,428

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
売上高	336,807
売上原価	190,144
返品調整引当金戻入額	322
返品調整引当金繰入額	449
売上総利益	146,535
販売費及び一般管理費	113,461
営業利益	33,074
営業外収益	
受取利息	359
受取配当金	140
その他	357
営業外収益合計	857
営業外費用	
支払利息	711
為替差損	5,046
その他	816
営業外費用合計	6,574
経常利益	27,356
特別利益	
固定資産売却益	35
投資有価証券売却益	16
特別利益合計	51
特別損失	
固定資産売却損	16
固定資産除却損	50
事業構造改革費用	4,716
特別損失合計	4,782
税金等調整前四半期純利益	22,625
法人税等	7,263
少数株主損益調整前四半期純利益	15,362
少数株主利益	161
四半期純利益	15,201

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,362
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	529
繰延ヘッジ損益	△272
在外子会社資産再評価差額金	△27
為替換算調整勘定	△8,900
退職給付に係る調整額	88
その他の包括利益合計	△8,581
四半期包括利益	6,780
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	6,716
少数株主に係る四半期包括利益	64

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営執行会議が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、世界本社として主に経営管理および商品開発を行っております。

当社グループは、主にスポーツ用品等を製造販売しており、国内においてはアシックスジャパン株式会社、アシックス販売株式会社、その他の国内法人が、海外においては米州、欧州・中近東・アフリカ、オセアニア/東南・南アジア、東アジアの各地域をアシックスアメリカコーポレーション、アシックスヨーロッパ B.V.、アシックスオセアニアPTY. LTD.、その他の現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

「日本地域」、「米州地域」、「欧州地域」、「オセアニア/東南・南アジア地域」、「東アジア地域」は、主にスポーツ用品等を販売しており、「その他事業」は、ホグロフスブランドのアウトドア用品を製造および販売しております。

なお、平成27年1月1日付でアシックスインディアPRIVATE LIMITEDはマーケティング会社から販売会社へ事業形態を変更いたしました。これに伴い、従来調整額に含まれていたアシックスインディアPRIVATE LIMITEDの業績を「オセアニア/東南・南アジア地域」に移行させております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日）

(単位：百万円)

	日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア/ 東南・南アジ ア地域	東アジア 地域	その他事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高									
(1)外部顧客への 売上高	79,922	107,927	90,997	16,530	32,370	8,860	336,610	197	336,807
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	17,484	0	4	11	61	3	17,565	(17,565)	-
計	97,406	107,927	91,001	16,542	32,432	8,864	354,175	(17,367)	336,807
セグメント利益 又は損失	3,522	6,044	9,808	2,840	5,196	(325)	27,086	5,987	33,074

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日）

重要な事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項がないため記載しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項がないため記載しておりません。

4. 補足情報

(1) 連結分類別売上高明細表

(分類)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)	
		金額 (百万円)	構成比 (%)
スポーツシューズ類	国内	51,952	15.4
	海外	221,108	65.7
	計	273,060	81.1
スポーツウエア類	国内	18,609	5.5
	海外	28,728	8.5
	計	47,338	14.0
スポーツ用具類	国内	9,751	2.9
	海外	6,657	2.0
	計	16,408	4.9
合計	国内	80,314	23.8
	海外	256,493	76.2
	計	336,807	100

(注) 1. スポーツシューズ類：ランニングシューズ、陸上競技・マラソン・サッカー・バレーボール・バスケットボール・ベースボール・テニス等の各種競技用シューズ、ウォーキングシューズ、スクールスポーツシューズ、スポーツスタイルシューズ、ジュニアシューズ、キッズシューズ等

スポーツウエア類：トレーニングウエア、アスレチックウエア、スクールスポーツウエア、ベースボールウエア、スイムウエア、スポーツスタイルウエア、アウトドアウエア等

スポーツ用具類：ベースボール・グラウンドゴルフ・パークゴルフ等の各種用具、スポーツバッグ、スポーツネット、サポーター、陸上競技用機器等

2. 前連結会計年度は決算期変更の経過期間であったことから、前第3四半期連結累計期間につきましては、四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、前第3四半期連結累計期間の連結分類別売上高明細表につきましては記載しておりません。

(2) 地域別売上高

当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年9月30日)

(単位：百万円)

日本	米州	欧州	その他	計
80,314	108,060	94,247	54,186	336,807

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(3) 在外子会社為替換算レート

	USD	EUR	AUD	KRW	SEK
平成27年12月期第3四半期 (円)	120.87	135.61	92.08	0.1076	14.48

(注) 1. 上記にて在外子会社の損益計算書を換算しております。

2. 前連結会計年度は決算期変更の経過期間であったことから、前第3四半期連結累計期間につきましては、四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、前第3四半期の在外子会社為替換算レートにつきましては記載しておりません。

(4) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率

		日本地域	米州地域	欧州地域	オセアニア/ 東南・南アジア 地域	東アジア 地域	その他事業
売上高増減比 (%)	(外貨)	—	—	—	—	—	—
	(邦貨)	—	—	—	—	—	—
セグメント利益増減比 (%)	(外貨)	—	—	—	—	—	—
	(邦貨)	—	—	—	—	—	—
セグメント利益率 (%)		3.6	5.6	10.8	17.2	16.0	△3.7

(注) 前連結会計年度は決算期変更の経過期間であったことから、前第3四半期連結累計期間につきましては、四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比につきましては記載しておりません。